

2年次 福祉類型 高大連携授業「介護講座」受講

9月11日（月）に中部学院大学短期大学部社会福祉学科に伺い、福祉類型の生徒（2年次生）が介護講座を受講しました。

前半は、高野晃伸先生から車いす介助のポイントを経験しながら学びました。また、後半は介護器具を使ったベッドから「車いす」への移乗介助も体験しました。介助の技術だけでなく、介助される側とする側両方の体験を通して、両者の気持ちやどうしたらスムーズにできるかを考えながら学ぶことができました。



「車いす」による移動介助



「スライディングボード」による車いすへの移動



「床走行リフト」

【感想】

- ・車椅子はゆっくりと動かし、利用者の方にその都度、声掛けすることが大切だと思いました。利用者さんが少しでも安心して過ごせるように学んだことを忘れないようにしたいです。
- ・車椅子で大きい段差のところを操作する場合は、てこの原理と大きな筋肉があるももを使って操作すると良いことがよく分かりました。
- ・介護について、今までは力仕事で大変な仕事だと思っていたけれど、スライディングシートやボードなどを活用してコツをつかめば楽に介助できることが分かりました。
- ・利用者側も介護者側もどちらにとっても安心・安全であることや信頼関係がとても大切だということが分かりました。